

会議録

会議の名称	令和6年度 第10回東秩父村小・中学校あり方検討委員会
開催日時	令和6年11月6日(水) 15:00~16:40
開催場所	東秩父村役場 2階 大会議室
出席者	別紙委員出席簿のとおり
会議記録	発言記録 ・ <u>要点記録</u>
議事内容	<p>1. 開会 (事務局)</p> <p>2. 教育長あいさつ (小林教育長)</p> <p>3. 委員長あいさつ (高橋委員長)</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1) 今後の東秩父村の教育内容について</p> <p>■【高橋委員長より報告説明】</p> <p>・高橋委員長より、事前に委員長が作成・配布した資料「東秩父村立小・中学校あり方検討資料(第10回用)」に基づいて、内容説明を行う。村で一つの学校となるため、どのような方針や特色などをもたせていくか検討していくこと。また、小中学校で9年間となるため、教育課程をどのように編成するか検討する必要もあるため、テーマに沿って、委員の皆様から自由にご意見をいただく。</p> <p><u>I 私立学校を小中一貫教育校1校とした場合の今後の課題</u></p> <p><u>委員長</u> 本日が一応の答申内容審議の最後と認識している。 <u>以下、Iにおいて4つの事柄の検討、IIにおいて行政の補助制度等の検討があると想定されるが、委員としてご意見はあるか。</u></p> <p>① どのような学校にしていくか基本方針の決定</p> <p>② 児童生徒の学力向上策の検討</p> <p>③ 児童生徒の体力向上策の検討</p> <p>④ 児童生徒の豊かな心の育成策</p> <p><u>II 村教育委員会としての特色ある教育施策の推進</u></p> <p>・給食費の無償化(小中学生対象)</p> <p>・卒業アルバム代の全額補助(小中学生対象)</p> <p>・修学旅行の一部補助(中学生対象)</p> <p>・新入学時ヘルメット購入費の半額補助(小学校対象)</p> <p>・所得額に応じた就学援助制度による補助</p> <p>・特別支援教育就学奨励費(特別支援学級及び通級指導教室の生徒対象)</p> <p>◎上記以外の必要な教育支援に関わる行政施策の検討</p>

【(1)のご意見等】

委員 現在、児童生徒が一人一台のタブレット端末を使用して、学習することを国の方で推進している流れがあるが、紙媒体を使用した学習も継続して取り入れていく必要があるのではないか。紙に書くことにより、脳が活性化され、読み書き能力が向上し、結果として学力向上に繋がるのではないか。

委員 子ども自身も字を書いたりするのが、億劫になっている話を聞く。タブレットを活用すると同時に、読み書きの機会も増やす必要があると感じる部分もあるが、授業参観などで授業の様子を見たとき、両方を併用していくことは難しい部分があるのかなとも感じている。

委員長 あえて書かせる授業を増やしていく教育編成も、特色ある教育の位置づけとして、一理あるのではと考えている。

副委員長 せっかくの小中一貫校を目指しているので、小中学生の繋がりを多くもたせていくのがよいのではないかと。中学生が小学生の勉強を見てあげることや、学校行事として全校遠足といったようなものを検討し、村の教育の特色としていってもよいのではないかと。

委員 村内ハイキングなどの行事も取組みとしてはよいのではないかと。→現在も村の社会教育事業として取組はあるので、そのような事業と連携してみてもよいのではないかと。

委員 小中学校一緒にボランティア活動をしていくのはどうか。ゴミ拾いなどの清掃活動やみどりの杜などの施設訪問などもよいのではないかと。子どもたちが実施すれば、地域や施設入所者の活力にもつながる。

委員 細かいことの教育課程については、学校の先生方にお任せしていく方針でよいのではないかと。

委員 小中学校が一緒になったからといって、大掛かりな取組ではなく、まずはできる範囲での取組を検討していくのでよいのではないかと。

委員 村の特色は、自然が豊かで、地域との連携がとりやすく、子どもよりも大人の方が多い部分があると感じている。それらを踏まえ、学校の目指す形というのは、どの子どもに対しても優しい学校を目指すというのがよいのではないかと。不登校などの問題がある中で、そのようなコンセプトで取り組んでみてはどうか。

委員 英検や漢検などの補助について、検討することがよいと感じた。

また、現在非常に手厚い補助を受けているので、このままの体制を続けていただければと感じている。今後、制服の購入補助等においても、教育委員会の方で検討していただけると、保護者としてはありがたいのではないか。制服の価格が上がっている部分もある。

他にも中学校などに専門的な指導者を設けたり、社会福祉協議会との連携などの検討もはじめてみてもよいのではないかと。

委員 制服をどうするかという考え方もある。なくすといったこともこれからは検討してもよいのではないかと。

委員 中学校でもブレザーや夏場の黒のポロシャツを導入したりと、制服の選択制などに取り組んでいる。

委員 小学生のランドセル購入においても、金額が高いといったこともあるため、補助を検討していただければ。また今後は、ランドセルにこだわらず、リュックサックのようなもので通学してもよいのではないかと。

委員 ランドセルについては、小学校の方では必ず使用しなければならないといったルールがあるわけではない。慣習的にそうなっているのではないかと。

副委員長 例えば、村の学校の特色として、村の学校を卒業した児童生徒は、うどんの手打ちができるといったような地域の文化的な要素も、教育の特色として取り入れてみてはどうか。

委員 村の伝統文化である和紙が漉けるようにするというのも、教育の特色として、取り入れてもよいのではないかと。

委員 中学校では、総合的な学習で選択した生徒が、和紙を漉いたりしている。今後、小中学校連携して、計画的にそのような児童生徒を増やすという方針もよいのではないかと。

委員 地域の伝統芸能（神楽など）も取り組んでみてはどうか。

委員 中学校では、大内沢の太鼓を選択して授業で取り組んでいる。また芸術鑑賞会では、萩平の獅子舞の鑑賞を行ったこともある。

委員長 委員のみなさんからご意見があった地域としての文化を教育課程や特色に取り組んでいくことを検討しつつ、答申に盛り込んでいく方向ですすめていきたい。

(2) その他について

■【高橋委員長より報告説明】

・高橋委員長より、事前に委員長が作成・配布した資料「施設一体型小中一貫校推進計画（案）」に基づいて、内容説明を行い、小中学校を統合して小中一貫校にする場合の想定される手順等を確認する。

<小中一貫校の開校について>

◎小中一貫校を開校するにあたり、下記2つの方法が想定される。

・東秩父中学校の敷地内に校舎等の施設が整った段階で小中一貫校を開校する。または、現在の校舎を活用する形で施設分離型の小中一貫校でいったんスタートし、施設が整った段階で施設一体型の小中一貫校にする。

<開校に向けての想定される取り組み>

◎小中一貫校を開校するにあたり、下記5つの手順が想定される。

- ・開校準備委員会等の準備組織の立ち上げ
- ・予算措置および必要な関係法令等の改正
- ・学校施設・設備・備品の整備
- ・現在の小学校および中学校の廃校作業
- ・学外組織の再編（PTA、学校支援組織等）

【(2)のご意見等】

委員長 教育委員会事務局として、今後の進め方やスケジュール等について、現在どのように考えているか。

事務局 委員のみなさんからのご意見をいただいて、村長に答申書を提出することまでが、令和6年度中の委員会での役割となっている。次年度以降のスケジュールとして、今後は、村長から答申書の回答をいただき、その内容次第で、「施設一体型小中一貫校」を目指し、学校に対する開校準備委員会などを設立し、進めていくことになる想定されるが、令和7年度中にそういった準備委員会を設けることは、すでに予算編成時期になってしまっているので、設立における予算等を確保し、推進していくことが難しい。

現段階の教育委員会の今後の方針としては、今回の委員会での答申を踏まえつつ、令和7年度では、1年間の中で村長部局と小中学校がどのような形で進めていくかを改めて協議することが想定される。

また、村役場の新庁舎建設事業といった大規模な事業も予定されているため、その事業の進捗状況にもよるが、早くて2～3年後に、準備委員会を設立できるかどうかという想定でしかお話ができないので、それについては、各委員のみなさまにはご承知いただきたい。

委員長 当委員会としては、できるだけ早期に小中学校を一貫校として進めていってほしいという内容を答申にまとめる方向ですすめていく。

■本日のまとめおよび今後のスケジュール

(本日のまとめ)

◎村立の小中一貫校として、地域文化や伝統芸能（紙漉きや神楽、手打ちうどん）の理解があり、実践できる児童生徒の育成などを教育の特色として、答申に盛り込めるものはまとめる。

◎小中学校一貫校へのスケジュール時期については、具体的な時期の明記は避け、できるだけ早期に進めていただきたいという内容を答申に加える。

(今後のあり方検討委員会想定スケジュール)

・令和7年1月 「第11回あり方検討委員会」

→答申書の素案確認

・令和7年2月上旬 「第12回あり方検討委員会」

→答申書の最終確認・修正

・令和7年2月下旬 東秩父村教育委員会へ答申書の提出

→完成した答申書をあり方検討委員会から東秩父村教育委員会へ提出

・令和7年3月上旬～中旬 東秩父村長へ答申書の提出

→教育長から村長へ答申書の提出

6. 次回開催について

・「第11回小中学校あり方検討委員会」

日時：令和7年1月24日（金） 15：30

場所：東秩父村役場 2階 大会議室または新会議室

7. その他

・特になし。

8. 閉会 吉野副委員長

第10回東秩父村立小・中学校あり方検討委員会 委員出席名簿

R06.11.06 開催 東秩父村役場 2階 大会議室 15:00 ~

【委員名簿】

No.	所属	役職	氏名	出欠席	備考
1	学識経験者（村外）	—	高橋 守	出席	委員長
2	学識経験者（村内）	—	吉野 孝	出席	副委員長
3	東秩父村立城山保育園	保護者会長	江原 多恵子	出席	
4	東秩父村立槻川小学校PTA	会長	坂本 樹俊	欠席	
5	東秩父村立東秩父中学校PTA	会長	尾石 楓	出席	
6	東秩父村区長会	会長	峯岸 正明	出席	
7	公募委員	—	高野 次雄	出席	
8	公募委員	—	奈良 幸子	出席	
9	東秩父村立槻川小学校	校長	川島 一伸	出席	
10	東秩父村立東秩父中学校	校長	田端 隆二	出席	
11	東秩父村教育委員会	教育長職務代理	高田 長子	出席	

委員 10 名

【事務局名簿】

11	東秩父村教育委員会事務局	教育長	小林 洋介	出席	
12	東秩父村教育委員会事務局	事務局長	足立 利平	出席	
13	東秩父村教育委員会事務局	学校教育指導員	志田 隆之	出席	
14	東秩父村教育委員会事務局	学校教育指導員	櫻井 仁志	欠席	
15	東秩父村教育委員会事務局	主査	岩田 浩興	出席	

事務局 4 名

総数 14 名